

北秋田市医療整備基本構想

北秋田市の医療機関は、少子高齢化を背景とする人口の減少と高齢化率の進展による疾病構造の変化や施設の老朽化等により、入院と外来患者数は毎年減少の一途を辿っています。

また、近年の医療制度改革で見られるように、今後の地域医療は、専門・高度医療を提供する地域の中核病院と市の保健・福祉事業や診療所等との機能分担と連携による一貫した地域包括医療体制を構築することが求められています。

そこで北秋田市では、入院機能を持つ3病院の統合と外来機能の再配置など施設設備の統合・再編成を行う「北秋田市医療整備基本構想」を策定しました。今号から、基本構想の一部を紹介していきます。

基本構想策定にあたり

北秋田市立阿仁病院（以下、阿仁病院）、北秋田市上小阿仁村病院組合（以下、米内沢病院）及び北秋中央病院は、北秋田市となるまで鷹巣阿仁地域の住民に対して各々の病院が地域の中核病院として、独自に医療を提供して参りました。

しかしながら、少子高齢化を背景とする人口の減少と高齢化率の進展による疾病構造の変化や施設の老朽化、慢性的な医師不足等が原因で、圏域住民による入院患者の約半数は他医療圏の病院に流出するなど、市内3病院の入院と外来患者数は毎年減少の一途を辿っています。

また、患者数の減少に加えて診療報

酬制度の改定の影響もあって3病院の経営は悪化し、阿仁病院と米内沢病院への一般会計からの補填は市財政を圧迫するに至っています。

一方、近年の医療制度改革に見られるように、今後の地域医療は、専門・高度医療を提供する地域の中核病院と市の保健・福祉事業や診療所等との機能分担と連携による一貫した地域包括医療体制を構築することが求められています。すなわち、地域中核病院は、外来は紹介・逆紹介や医療機器の共同利用を推進し、一般診療所で診ることのできない専門・高度医療による診断・治療を提供する場であり、入院は臨床研修機能、急性期医療、地域医療支援機能の役割を求められています。

また、診療所は患者や家族にとってのかかりつけ医として、日常的な診療

や慢性期疾患全般にわたる医療を提供すべき役割が求められています。

しかしながら、3病院を受診する外来患者の殆どが特に高度医療を必要としないかかりつけ的な初期診療時点から一般診療所受診の感覚で来院している結果、各々の病院は他の公的病院と比較しても非常に多くの外来患者数を受け入れており、本来果たすべき専門・高度医療の提供に支障をきたしているのが現状です。

これら諸問題を解決するため、鷹巣阿仁地域4町の新市合併事業を機に3病院の入院機能の統合と、外来機能の再配置など施設設備の統合・再編成を行い、新たな地域包括医療提供体制を構築する必要があります。

既存病院の現状

【阿仁病院】

当該病院の診療圏は、旧阿仁町とした病床数60床を有する公的医療機関です。昭和51年に全面改築され現在に至っていますが、慢性的な医師不足に加え、人口減少にともなう高齢化率が年々著しく増加し、現在の医療体制の維持は困難な状況となっています。

また、患者数の減少及び医療制度の改革による収益の悪化により、建物の改築時期が迫ってきていますが、改築できない状況となっています。

- ・病床数 一般60床
- ・職員数 35名
- ・医師3名、看護師18名、その他14名
- ・診療科目 5科

内科、外科、小児科、理学診療科、
歯科口腔外科



- ・病床数 254床
- 一般129床、療養60床、精神50床
- 結核11床、感染症4床
- ・職員数 204名
- 医師13名、看護師122名
- その他69名
- ・診療科目 15科
- 内科、循環器科、消化器科、小児科、精神科、神経科、外科、整形外科、脳神経外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、リハビリテーション科、皮膚科



- ・病床数 一般216床
- ・職員数 198名
- 医師16名、看護師122名
- その他69名
- ・診療科目 23科
- 内科、精神科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、小児歯科、歯科口腔外科

※一部事務組合
市町村等の事務の一部を共同処理するために設立された組合で、特別地方公共団体となります。1市町村では対応できない、或いは広域で取り組んだ方が効率的である、等の理由で設立されます。

【米内沢病院】

当該病院の診療圏は、旧合川町、旧森吉町、旧阿仁町、上小阿仁村、旧鷹巣町の一部とした病床数254床を有する一部事務組合として設置された公的医療機関です。

長年にわたり阿仁地域の中核病院として地域医療を担ってきましたが、近年、慢性的な医師不足となり、総合病院としての機能維持が困難な状況となつてきています。

それに加え、患者の他医療圏への流出及び医療制度の改定による収益の悪化が顕著であり、構成町村による負担措置がなければ運営できない状況となっています。

【北秋中央病院】

当該病院の診療圏は、旧鷹巣町、旧田代町、二ツ井町とした病床数216床を有する公的医療機関です。

昭和41年鷹巣の中心地に改築し、その後2度にわたる増改築を行い現在に



地区名	合川地区	阿仁地区	森吉地区	鷹巣地区
公的医療機関	合川診療所	阿仁病院	米内沢病院	北秋中央病院
現有病床等	一般病床19床 (現況無床運営)	一般病床60床	一般病床129床 療養病床 60床 精神病床 50床 結核病床 11床 感染症 4床	一般病床216床
開業医件数	1	0	0	15